

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		掘削指導事務(受託事業費)					所管	都市づくり部 道路管理課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]									
		[小 柱]									
		[施 策]									
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区道路占用工事要綱			[事業開始] 昭和28年度			
	事業対象	道路占用企業者、建築施工業者									[終了予定] - 年度
	事業目的	道路占用工事及び建築工事による区道への影響を最小限にするため指導監督を行い、道路構造の保全、良好な道路機能を維持する。									
	事業内容	<p>1. 道路占用企業者における道路占用工事の指導監督、道路復旧範囲の査定、完了検査。</p> <p>2. 建築工事による道路への影響について、復旧指導、完了検査。</p>									
委託の有無	なし		委託内容								
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度			
	活動指標	道路占用企業者との立会い、指導件数		箇所	1,500	1,367	1,186	1,774			
		建築工事指導件数		箇所	150	167	170	215			
	成果指標										
	決算額 (単位：千円)					851	648	1,255			
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)				34,087	34,006	32,080			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				852	649	1,255			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0			
		総経費				34,939	34,655	33,335			
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				852	29,543	5,311					
一般財源(区負担額)				34,087	5,112	28,024					
前回評価から改善した事項	国道事務所と合同で路上工事現場のパトロールを行うなど、関係機関との連携を強化した。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	道路占用企業者との協議、及び調整により工事を最小限にとどめ、また工事の指導監督により区道を良好な状態に維持するために必要である。								
	効率性	3	道路工事調整協議会、及びオンライン道路管理システムの活用により、効率的に事務を執行している。								
	手段の適切性	4	道路工事調整協議会及び道路管理システムには、すべての関係企業者が参画し、常に情報が共有化され効率的である。								
	目的達成度	4	道路占用企業者による工事を最小限にとどめ、効率の良い復旧工事の指導を行い、工事による区民の生活環境悪化を抑制した。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了			
区道を良好な状態で維持管理していくことは、区民生活にとって必要不可欠であり、道路占用企業者による工事の指導監督を引き続き行うことが必要である。							維持				